

## 言志

秋丸 健一郎

県議会議員任期4年間のうち、一年目が終わりました。あつという間の、しかし中身の濃い一年となりました。

6月議会では楠集中高一貫校の方針転換を質し、10月臨時議会では県民投票条例の必要性を訴え、12月議会では初めての一般質問、3月議会ではスポーツ・コンベンションセンターについて徹底的に審議しました。

また、県内外の視察では、先進地の学びや現場での気づきを得ることができました。不登校を経験した子どもたちが学ぶ京都市の特例中学校では、子どもの育ちに対する地域のプライドに感銘を受け、福岡県の観光ビッグデータ分析に舌を巻き、新設の鹿児島南特別支援学校の視察の後、牧之原特別支援学校を訪問した際、あまりの環境の違いに愕然としました。

「県政を身近に引き寄せる」ために、定例会が終わるたび、この「秋丸だより」にて、

議会であったことや、私の考えたことなどを皆様に伝えていきます。「政治家のチラシなんて」とごみ箱に直行することも少なくないでしょう。実際に「郵便受けにごみを入れるな」との苦情を受けた、という同僚の話も聞きます。

読んだ方に少しでも価値があったらと思っていただけよう、特に、今までの政治とは違うものを欲している方に届くように、毎回、頭をひねって製作しております。2年目も引き続き精進して参ります。

また、県内外の視察では、先進地の学びや現場での気づきを得ることができました。不登校を経験した子どもたちが学ぶ京都市の特例中学校では、子どもの育ちに対する地域のプライドに感銘を受け、福岡県の観光ビッグデータ分析に舌を巻き、新設の鹿児島南特別支援学校の視察の後、牧之原特別支援学校を訪問した際、あまりの環境の違いに愕然としました。



鹿児島県議会 本会議場にて

## 霧島市・湧水町 県議会トピック

予算

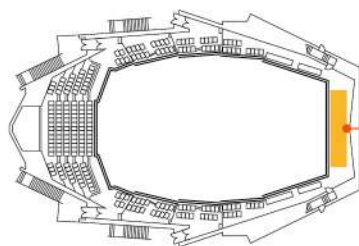
### みやまコンセールのパイプオルガン

令和3年本県出身者からみやまコンセールのパイプオルガン建造に使用して欲しいとの2億円の寄付をいただき、主ホールにパイプオルガンの整備を進めています。

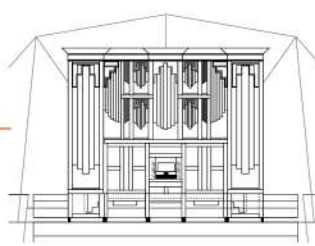
ドイツとルクセンブルクのオルガンビルダーが設計、製造を行い、本年11月以降ホール内の組み立て工事が始まります。完成は令和7年5月を予定しています。

モーツァルトが「楽器の王様」と呼んだパイプオルガンが加わる事で、今まで以上にみやまコンセールの演奏に広がりが見られます。完成が楽しみです。

■霧島国際音楽ホール 主ホール 2階



■パイプオルガン イメージ図



- 総事業費 約2億円  
(オルガン本体:1億8千万円、その他付帯工事費等:約2千万円)
- コンセプト バッハの楽曲の演奏を基軸とし、19世紀以降の楽曲までカバーできるオルガン
- 大きさ 高さ:約7.5m / 幅:約8.8m / 奥行:約3.2m

予算

### 霧島国際音楽祭 東京特別公演

今年で第45回目を迎える霧島国際音楽祭。その節目にあたって、令和6年度、東京特別公演の予算として約1900万円が計上されています。

この記念公演は8月6日、東京港区のサントリーホールにて、キラシマ祝祭管弦楽団による記念公演が行われます。11年ぶりの東京公演となります。



# スポーツ・コンベンションセンター集中審査

令和6年度予算案に、新総合体育館(スポーツ・コンベンションセンター)の313億円の債務負担行為(複数年に渡る大規模な工事などの契約を結ぶ際、次年度以降に支払う金額をあらかじめ議会に認めてもらう)が計上されました。

昭和35年に完成し築60年を超える体育館の建て替えは必要なことです。また、屋内競技の県大会が、今の県体育館だけでは実施できず、薩摩川内市等の会場も使って分散開催している現状から、1箇所で開催できる施設を、という競技をされる方からの要望があることも理解し、また人件費・資材費は時間が経つほど上がっていく状況から、できるだけ早く着工する必要性も念頭に、今回、PFI方式(設計、建設、維持管理及び運営を、民間の会社が提案して行う方式)により、完成後15年間、毎年約20億円を民間の会社に分割払いすることになる、そのお金をどうやって確保するかが議論の肝と考えました。

なっていたため、ここで徹底的に議論をしようと考えました。まず、「物価高騰により、事業費が313億円では足りなくなった場合に、議会に予算の増額を求めてきた(補正予算)時、『これ以上お金がかかることは認められない』と議会がNOと言った場合に、どのようにして建設を継続するのか?」との質問もしましたが、「事業継続をお願いする」(NOと言わせない)との、すれ違い答弁が返ってきました。

そこで私は、今回の議会で「事業が進み出してしまえば、もう止められない。議会は整備費用の増を認めるしかない。議会の意思判断の実質最後の場がこの委員会になるので、これまで議論されたことも再確認していきたい」として、財源の話だけではなく、一つ一つ丁寧に質問していきました。PFI応募業者が一社だったらどうするのか。金額と提案された建物がつりあっているか。提案の妥当性はどのようにチェックするのか。応募業者の中からどうやって選ぶのか等々。

そして、財政課長と財源についてのやりとりをしました。その中で、県の令和6年度当初予算は約8400億。その規模からすれば、20億円というのは、調整が容易なのかもしれません。「20億円を捻出可能という肌感覚があるのならば、それを県民に向けて言語化してほしい(わかるように説明してほしい)。この件に限らず、鹿児島県はそこが不足している」と訴えました。

この日、8時間余りの議論がありましたが、あらためて議事録を見ますと、約4分の1、およそ2時間、私が当局と議論をしていました。場所、費用・規模について疑念があるため反対をされる議員もいらっしゃいましたが、私は、場所の話も費用・規模の話も時間をかけて徹底的に確認したうえで、丁寧に整理されて、予算を計上されていると感じたため、この予算案には賛成をしました。

築60年以上で老朽化が深刻

鹿児島市北埠頭に新設

鹿児島総合体育館 (鹿児島市下荒田)

2029年開業予定

スポーツ・コンベンションセンター

屋内スポーツ コンベンション施設  
コンサート会場 レストラン・商業施設

【分割払い】  
毎年20億円 × 15年間

財源は?

まず、3月11日に開かれた予算特別委員会において、どのように財源を確保するのかということ質問しましたが、時間の関係上、深い議論ができませんでした。

私が所属していた文教観光委員会は、3月13日にこのスポーツ・コンベンションセンター問題だけを1日まるまる審議することに

## 秋丸の発言 3月の文教観光委員会

- 牧之原特別支援学校のプレハブ校舎設置(4年間のリース)について、曾於、伊佐、始良地区の特別支援学校の分置計画が進めば、最終的に牧之原に残る霧島の子どもたちが、ずっとプレハブや古い校舎に待たされるという話になるので、スピードを上げて並行して改築の話を進めて欲しいとの要望
- 「魅力ある県立短期大学づくり検討事業」の短期大学が減っていく、公立短期大学が四年生大学にどんどん移行していく中で、「短期大学を前提にしながら、時代の要請に応じた魅力づくり」という考え方への疑問
- 臨時適任用教員の新年度に向けての確保について
- 教員定数に関する条例改正の考え方について
- 鹿児島ユナイテッドFCへの支援の予算の減額について
- 観光基本方針の考え方について



会議録の検索ページ

### 委員会視察 福岡地区 2024.1.10-11

文教観光委員会、最後の視察は福岡。福岡県庁で宿泊税を活用した観光振興策の強化とデータ分析に基づいた施策展開を学び、鹿児島県でも開設に向け準備を進める夜間中学校で、令和4年に開校した福岡きぼう中学校の現状などお伺いしました。

また、国営の海の中道海浜公園でPARK-PFIにより整備された「泊まれる公園」を視察。博多湾を臨む広大な敷地に展開する宿泊施設を見て感じたのは鹿児島、特に鹿児島市内は活用可能な広い土地が少ないということでした。



福岡きぼう中学校にて

県政に対するご意見・ご要望などお気軽にご相談ください。皆様の思いを県政に届け、より良い未来を作ることが県議員の役割です。